

はじめまして。赤ちゃん。

2月受け付け分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

2月受け付け分(敬称略)

地区名	亡くなった方	満年齢
-----	--------	-----

篠南川柳会
門松を飾る爺も米寿越え
時計ばかり見て待つ時の長いこと
鉄砲水ゲリラ豪雨の爪のあと
古い仲間昔し話してもりあがり
杖をつき歩く婆たち口達者
竹馬で初めて歩いて得意顔
ひと昔おやつ焼き芋和を包む
古日記姑の愚痴もたまにあり

もつちゃん
安子
千代子
保美
すみ子
木本
中川 一喜
鶴川 裕子
安岡留美子
浅野勇一郎
迦恋

凍星や走る車は私だけ
初時雨幾万の涙と明日の星
黒板のカウントダウン春の虹
囀り呼ばれ光の窓を開け
菜の花や旅立つ娘心で追う
新しくの葉短歌会
畑仕事の帰りに採りしつわぶきを
握りし夫の指の香し
歩きにくい我に気づきて男の孫は
「ばあちゃんゆつくり」と手を添えくるる
フリージアの花束ひとつワインに添え
一人で祝うわが誕生日
障子透ける日差し明るき昼下り
陶器の雛部屋に飾りぬ

兵頭 嘉寛
和田 靖樹
鈴木 貴
西崎 文恵
宮下喜久子
河上 明美
前田 充

▶新しくの葉短歌会の閉会について

「歌心忘れずに」

かつて旧城辺町に「城辺短歌会」が、旧御荘町に「御荘短歌会」がありました。町村合併や会員数の減少などにより、一つの短歌会として活動することになり、会の名称を「新しくの葉短歌会」としました。先輩のご指導を頂きながら、短歌を作ることの厳しさや楽しさを学んできました。

けれども会員の高齢化等により、これ以上活動を続けることが難しくなり、この3月をもって会を閉じることを決めました。

積み上げてきた年月の重さに心が痛みます。これからも歌心を忘れず、日々の暮らしを詠み続けていきたいと念じております。

新しくの葉短歌会 代表 前田 充

※上記情報は、広報紙掲載に対して、ご家族等に同意を頂いております。